



日本学術会議主催 シンポジウム

南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか

日時：平成二十五年十二月二日（月）午後一時から午後五時三十分 入場無料（資料代一、〇〇〇円）
 会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
 主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

開催趣旨

東日本大震災は、大規模災害への対策や対応には、多様な研究分野の連携と融合が不可欠なことを明らかにしたが、さらに大規模な被害想定が政府中央防災会議によって発表された。南海トラフ巨大地震による大震災である。この想定結果を踏まえて、防災・減災のために、様々な学術分野がどのように向き合い、どのような学際的な連携を進めていくべきか。本シンポジウムでは、理学・工学の関連分野に加え、社会経済などの人文・社会科学や医学をはじめとする生命科学を含めた幅広い分野の研究者・専門家が集まり、分野の壁を越えて議論する。

プログラム

司会

目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

13：00 挨拶・趣旨説明

挨拶

大西 隆（日本学術会議会長、東京大学名誉教授）

趣旨説明

和田 章（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）

学協会連絡会の紹介

依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

13：20 政府の南海トラフ巨大地震の被害想定と対策について

日原洋文（内閣府政策統括官（防災担当））

13：50 ディスカッション「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」

- 幅広い分野の学者・専門家による分野の壁を越えた議論 -

コーディネータ

米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

パネリスト

日本学術会議会員、各学会代表者（詳細は次ページ）

テーマ1： 事前防災への取組み

テーマ2： 発災時の対応と備え

テーマ3： 発災後の回復力の強化

17：00 全体討論

17：25 閉会挨拶

家 泰弘（日本学術会議副会長、東京大学教授）

定員： 先着 340 名

お申込み： 下記サイトの申込フォームよりお申込ください。

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください。

<http://jeqnet.org/sympo/>

問合せ先：東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

インターネットで実況中継 (Ustream) :

当日、ホームページ <http://jeqnet.org/sympo/> を御覧ください。

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、
 空気調和・衛生工学会、こども環境学会、
 砂防学会、地域安全学会、
 地理情報システム学会、地盤工学会、
 土木学会、日本応用地質学会、
 日本火災学会、日本活断層学会、
 日本機械学会、日本計画行政学会、
 日本建築学会、日本原子力学会、
 日本コンクリート工学会、
 日本災害情報学会、日本自然災害学会、
 日本集団災害医学会、日本地震学会、
 日本地震工学会、日本地すべり学会、
 日本造園学会、日本地域経済学会、
 日本都市計画学会、日本水環境学会、
 農業農村工学会、廃棄物資源循環学会



ディスカッション

「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」

幅広い分野の学者・専門家による分野の壁を越えた議論

中央防災会議から発表された南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえて、その防災・減災のために、様々な学術分野がどのように向き合い、どのような学際的な連携を進めていくべきか、防災に関連する学会に加え、社会経済や医学等の幅広い分野の学者・専門家が集まり、分野の壁を越えて議論する。

13:50 テーマ1：事前防災への取組み

テーマ趣旨：津波防災、建築物の耐震化、火災対策、土砂災害・液状化対策、ライフライン・インフラの確保、教育・訓練等、総合的な防災の向上のために事前防災が重要である。危険度が高いとされる臨海工業地帯の安全性の確保も急がれる。限られた予算と時間のなかで、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。

休憩

15:00 テーマ2：発災時の対応と備え

テーマ趣旨：救助・救命、避難路の確保、消火活動、緊急輸送活動、物資調達、避難者・帰宅困難者対応、ライフライン・インフラの復旧、防災情報対策、広域連携・支援体制等、発災時の対応と備えが急がれている。地震発生から津波到達までの時間が短く、被害が広域にわたることが危惧されるなかで、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。

16:00 テーマ3：発災後の回復力の強化

テーマ趣旨：被災地における混乱と被害の拡大を防ぎ、社会・産業の機能を回復するために必要な取組みは何か。太平洋ベルト地帯をはじめ、産業や人口が集積する地域が多く含まれており、甚大な被害が予想されている。復旧・復興を早く成し遂げるために、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。東日本大震災での教訓をもとに議論する。

17:00 全体討論

討論趣旨：理学・工学、社会経済・医学等の幅広い分野の学者・専門家が、学界として南海トラフ地震にどう向き合うかを、大所高所から自由に議論する。

パネリスト

日本学術会議

春日文子 副会長, 第二部会員, 国立医薬品食品衛生研究所
 岩本康志 第一部会員, 東京大学 教授
 渡部終五 第二部会員, 北里大学 教授

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

土木学会 元会長 濱田政則
 日本活断層学会 会長 中田 高
 日本地震学会 副会長 西澤あずさ
 日本地震工学会 副会長 当麻純一
 地盤工学会 会長 末岡 徹
 日本応用地質学会 会長 千木良雅弘
 砂防学会 会長 岡本正男
 日本地すべり学会 会長 檜垣大助
 こども環境学会 会長 小澤紀美子

日本自然災害学会 副会長 高橋和雄
 地域安全学会 会長 宮野道雄
 日本災害情報学会 発表者調整中
 地理情報システム学会 理事 巖 網林
 日本火災学会 会長 田中孝義
 環境システム計測制御学会 会長 清水芳久
 日本水環境学会 会長 迫田章義
 廃棄物資源循環学会 理事 吉岡敏明
 日本集団災害医学会 代表理事 山本保博

日本計画行政学会 会長 大西 隆
 日本都市計画学会 部会長 苦瀬博仁
 日本コンクリート工学会 元副会長 三橋博三
 日本原子力学会 発表者調整中
 日本機械学会 会長 矢部 彰
 日本建築学会 会長 吉野 博
 空気調和・衛生工学会 副会長 原田 仁
 日本造園学会 会長 下村彰男
 農業農村工学会 副会長 内田一徳
 日本地域経済学会 会長 岡田知弘

コーディネータ

米田雅子 日本学術会議連携会員